

一 如是如是の事

仰せに云はく、釈に云はく「法相の是ぜに如し、根性こんじょうの是に如するなり」と。法相の是に如すとは、諸法実相を重ねて如是と説かれたり。根性の是に如すとは九法界を説かれたり。然れば機法共に釈迦如来の所説の如く真実なりと証明しょうみょうし玉へり。始めの如是は教一開会かいえなり。次の如是は人一開会なり。権教の意は諸法を妄法ときらいし隔別不融きやくべつふゆうの教なり。根性に於ては性欲しょうよく不同なれば種々に説法し玉へり。仍って一人も成仏せず。今の経の心は諸法実相の御経なれば、十界平等に授くる所の妙法なり。根性は不同なれども同じく如是性の一性なり。所詮今末法に入りての如法相是は塔中相承たうちゅうそうじょうの本尊なり。如根性是と云ふは十界宛然おんねんの尊像なり。法相は南無妙法蓮華経なり。根性は日本国は一切衆生、広くは一閻浮提の衆生なり云云。